

道徳教育の

充実をめざして

戦後の歴史教育と日本

～麗澤教育の経験を通して～

道徳教育研究会は、①学校における道徳教育の着実な展開を促すための支援 ②知育と徳育が一体となった教育のあり方を探求し、教師自らが「良い生き方」をめざし、「思いやりの心」を育み、深めることを目的としています。道徳教育の目標は「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと」であり、道徳科の時間における学習では子供たちが道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが重要な課題となっています。

第62回道徳教育研究会では、教育者・教育関係者の方々に参加いただき、これらの課題について共に考えたいと思います。

令和7年 第62回道徳教育研究会ご案内 堺会場

■日時 令和7年7月26日(土)14:00～16:30(受付13:00)

■リアル&オンライン ハイブリッド開催

「会場」に来られるか「オンライン」をご選択ください。

オンラインの方はZOOMでURLとミーティングIDを送らせていただきます。

■会場 (公財)堺市産業振興センター(旧じばしん南大阪)4F セミナー室5

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根183番地5

■会費 1,000円(教育関係者は無料)

■締め切り 令和7年7月14日(月)

【主催】公益財団法人モラロジー道徳教育財団 〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

【後援】文部科学省・堺市・堺市教育委員会 【運営】大阪府南部モラロジー協議会

◎お申し込み、お問い合わせ

□堺南モラロジー事務所

濱口 ☎ 072-233-3300・FAX 072-238-9900

□堺北モラロジー事務所

辰巳 ☎ 090-3973-3174・FAX 072-233-3776

□堺北野田モラロジー事務所

阪手 ☎/FAX 072-284-8843

当事務所は、モラロジー道徳教育財団より設置を承認された団体です。

ご参加をお待ちいたしております。※FAXでお申し込みの場合は切り取らないでこのままの用紙でFAXして下さい。

切り取り線

第62回道徳教育研究会参加申込書

申込日 令和7年 月 日 整理番号 _____

氏名	() 1、教育関係者(0B含む) 2、教育関係者以外				
性別	男	女	年代	20代・30代・40代・50代・60代・70代以上	
参加回数	初回	・ 2回目	・ 3回目	・ 4回以上	受講希望場所 会場 ・ オンライン
住所	〒				
勤務先			役職		
紹介者			オンラインの方はメールアドレス		

※ご記入された内容は、本研究会のご案内、参加証の発行、その後の道徳教育研究会活動及びモラロジー教育活動に於ける関連情報以外には使用することはありません。

道徳教育の充実をめざして

◎プログラム

令和7年7月26日(土)

時 間		内 容
13:00 ~ 14:00	60分	受 付
14:00 ~ 14:05	5分	開会の辞
14:05 ~ 14:15	10分	主催者挨拶・来賓挨拶
14:15 ~ 14:20	5分	DVD上映
14:20 ~ 15:10	50分	第1講 松本卓三講師「戦後の歴史教育と日本」
15:10 ~ 15:20	10分	休 憩
15:20 ~ 15:40	20分	実践発表 福田哲也講師「STEAM教育について」
15:40 ~ 16:25	45分	第2講 松本卓三講師「戦後の歴史教育と日本」
16:25 ~ 16:30	5分	閉会の挨拶

※プログラムは変更させて頂く場合があります。

◎講師プロフィール

松本 卓三 講師

麗澤高等学校 東京大学を卒業後
麗澤高等学校教諭を経て
麗澤中学・高等学校校長を歴任

福田 哲也 講師

麗澤高等学校 筑波大学を卒業
田原本中学教諭を経て
現在、追手門学院大学ロボット・
プログラミング教育・研究推進室長
文部科学省 文部科学大臣表彰受賞
科学技術賞(2007年)



- ・南海高野線中百舌鳥駅下車北出口北へ約300m
 - ・地下鉄御堂筋線なかもず駅下車8番出口より約300m
- ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車、バスなどの公共機関をご利用ください。

◆ モラロジー道徳教育財団について ◆

モラロジー道徳教育財団は、大正15(1926)年、法学博士・廣池千九郎によって創立され、モラロジー(道徳科学)および倫理道徳の研究と、これに基づく社会教育、生涯教育を推進する団体です。「道徳で人と社会を幸せに」という指針のもと、社会における諸問題の道徳的解決に資する研究・教育・出版・福祉事業を展開しています。